

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well ウエル おおさか

Vol. **55**
2026
summer
7月

煉瓦館



さくら並木



図書館



ひまわりドーム

写真提供 熊取町

特集

新任民生委員の定着支援に取り組む民児協の活動紹介

- ① 島本町・豊能町 ② 研修会
- ③ 活動強化週間／孤独・孤立対策強化月間

◎イキイキハツラツ
民生委員・児童委員さん
熊取町民生委員児童委員協議会

民児協だより
池田市民児協／枚方市民児協
太子町民児協／泉南市民児協

読者プレゼント

詳細は、
P14を
みてね!



さをり織りセット 4名様

新任民生委員・児童委員の定着支援に 取り組む民児協の活動紹介

民生委員・児童委員（以下民生委員）の担い手確保について考えるにあたり、課題としてあげられるのが充足率の低下です。昨今、民生委員の充足率は一斉改選ごとに低下しており、大阪府（政令指定都市を除く）の充足率は令和7年12月で88.3%と令和4年時に比べ1.5%低減しました。

充足率減少の要因のひとつに考えられるのが、新任民生委員の定着率の低さ。1期目の壁ともいわれるように、1期3年間もしくは2期6年間で退任される方が多いのが現状です。新任の方々に、少しでも継続して民生委員を続けてもらえるように。今回は、民生委員の定着支援と活動しやすい環境づくりに取り組む、島本町民児協と豊能町民児協の活動事例を紹介します。

島本町民生委員児童委員協議会

小学校区ごとに集まる定例の「地区会」で一人ひとりが話しやすく相談しやすい環境に。

● 島本町環境

島本町は約1万5千世帯ほどが暮らす、4つの小学校区と2つの中学校区からなる小さな町です。民生委員は定数59名中、委嘱数48名と充足率は約81%ですが、去年の一斉改選での再任率85%、退任者の13人中12人は（延長含む）定年退任です。島本町は自治会などの推薦母体がなく、欠員補充の課題はありますが、小さな町ならではの顔の見える関係で、多くの方が継続して委員を続ける傾向にあります。

● 島本町の地区会とは

島本町民児協では、小学校区ごとに民生委員が集まる定例の「地区会」を実施。第一地区6名、第二地区18名、第三地区9名、第四地区15名の構成で、年に4回程度、各地区で地区会を開催しています。

地区会では、見守り活動や今抱えている問題などの情報を共有。同じ地域なので実情も理解しやすく、相談したり、共感したり、互いにアドバイスを送るなど、基本である日々の相談支援活動を行っていくうえで、最も大切な話し合いの場になっています。

地区会を することで…

新任委員が分からないことや困りごとを相談しやすい。

少人数なので一人ひとりが発言しやすく、些細なことも相談しやすい。

身近な事例を共有できることが学びになり、次の自分の体験につなげられる。

経験の浅い委員も先輩に学び、新任委員も活動のしやすさにつながる。

顔見知りで地域の特性も分かっているので、お互いにアドバイスしやすい。

一人で抱え込むのではなく、地区のみんなで共有できることが心強い。

少人数なので楽しく和気あいあいとした雰囲気での活動できる。



地区会の様子

中本会長よりひとこと

少人数で話し合うことで、情報を共有し、互いにフォローしたり、楽しい雰囲気での活動できたり。島本町にとって地区会はなくてはならない存在です。

島本町では、令和7年の一斉改選から、民生委員全員がLINEで情報共有するようになりました。地区会ごとのグループラインで情報伝達や日程調整がスムーズにでき、かなり負担も軽減。令和8年5月の総会から、総会資料をLINEで共有し、総資料は当日配付。今までは、地区長が総会前に全民生委員に配付していました。まずは地区長の負担を減らし、さらなる活動のしやすさにつなげていきたいと考えています。



左から第三地区長 猪飼公栄さん、第四地区長 江口隆子さん、会長 中本眞智子さん、第二地区長 岡田由美子さん、第一地区長 木村美智子さん、副会長 山田真理子さん



民生委員OB・OGが協力員になることで、
新任委員の活動しやすい環境づくりをサポート。

●豊能町の環境

豊能町は、町域の約7割を山林が占める、自然豊かな町です。民生委員の定数は51名で、令和7年の一斉改選後も、充足率100%を維持しています。一方で、今回の改選では多くの委員が退任され、新任委員が28名、2期目の委員が14名と、8割り以上が1期目・2期目の委員となっています。経験の浅い委員が多いため、新任委員の不安をどのように軽減し、活動を続けやすい環境を整えるかが大きな課題となっていました。そこで、豊能町では協力員制度を導入し、前回の一斉改選から協力員のサポートを得ながら、活動に取り組んでいます。



吉川・ときわ台地区のサロンでの様子 左から吉川委員、山畑協力員

●協力員制度の導入にあたって

協力員の委嘱期間は1年間、年齢制限も設けておらず、一般公募も実施しています。

現在は、7名の協力員が在任。主に新任委員のサポート役として民生委員OB・OGの方が中心に活躍しています。

豊能町では、協力員制度導入により、以下のことを期待しています。

- ①地域が広いため、手分けして見守り活動を行い、民生委員の負担を軽減する。
- ②将来、民生委員として活動してもらえる人材の発掘・育成。
- ③民生委員OB・OGによる、経験と情報収集能力をいかしたサポート。

民生委員協力員とは

民生委員協力員とは、民生委員・児童委員の負担軽減と、より丁寧な地域の見守りを目的として設置された町のボランティアです。高齢者宅等への声掛け訪問や見守り活動など、民生委員・児童委員の活動の一部を補佐・協力します。

協力員制度を導入して…

エリアが広く1軒1軒が遠いので、全戸配布や見守りを協力してもらえて助かる。

最初は分からないことが多く不安だったが、協力員が前任者なので地域のことをよく知っていて心強い。

一緒に見守りの方の家を回り、一人ひとりと顔を繋いでもらった。地域への理解が深まると同時に、見守られる方も安心だったと思う。

分からないことは、協力員に聞きながら進められるので、安心感がある。

守秘義務があるので、前任者に協力員になってもらえるとより相談しやすくなる。

新任民生委員の立場から

協力員(民生委員OB・OG)の立場から

エリアが広いので、家の近くの見守り支援の方を引き続き行っており、状況を民生委員に報告している。

町民との何気ない雑談の中から、なるべく情報をキャッチして、民生委員に共有していきたい。

新興住宅地は高齢化が進んでおり、昼間独居の方が多い。見守り活動が大変なので協力していきたい。

元民生委員として分かり合えることも多いので、迷った時や困った時に、少しでも役に立てたらと思う。

香川会長よりひとこと

豊能町は、訪問数が多い所は200軒以上、少なくともエリアが広く、協力員のサポートは大変ありがたいです。チームワークを発揮して、目の届きにくい地域の情報も収集できることを期待しています。今後の取り組みとしては、デジタル化の一環として、タブレット利用を考えています。現在、主任児童委員がタブレットでズーム会議などを実践中。理想としては、将来は全員がタブレットを持ち、働いている方も土日だけで活動できる環境を整えることです。それをフォローできるのが協力員だと思っています。



左から 民生委員・児童委員 佐藤久代さん、協力員 山畑志津子さん
民生委員・児童委員 吉川美智子さん、協力員 山下久美子さん、会長 香川忠輝さん

令和7年12月 一斉改選振り返り研修会 ～民生委員・児童委員の担い手確保について考える～を開催

令和8年3月11日、大阪国際交流センターにて、「令和7年12月一斉改選振り返り研修会」を大阪府との共催により実施しました。令和7年12月の一斉改選に向けては、大阪府、府民児協連、各市町村において、早い段階から担い手確保に向けたさまざまな取り組みが進められてきました。

本研修会では、3年に一度の一斉改選を終えたこの時期に、それぞれの取り組みを振り返るとともに、次期一斉改選を見据え、民生委員・児童委員（以下、民生委員）、民児協事務局、行政の関係者が一堂に会し、今後の取り組みについて共に考える機会となりました。



「民生委員・児童委員の担い手確保について考える」

一斉改選のたびに、民生委員の充足率は低下しています。なぜ担い手が不足しているのか。その背景を理解することが、担い手確保に向けた第一歩です。

まず一つ目は、「認知度の低さ」です。特に若年層との関わりが少なく、民生委員活動の情報や魅力が十分に届いていない現状があります。二つ目は、「委員活動の負担感」です。活動内容の幅広さや責任の重さが、担い手確保の難しさにつながっています。三つ目は、「推薦母体の縮小」です。主な推薦母体である自治会の加入率低下や役員の担い手不足により、候補者選出が難航しています。四つ目は、「担い手世代の就労増加」です。65歳以降も働き続ける人が増え、地域活動に時間を割くことが難しくなっています。さらに、「1期目の壁」も大きな課題です。活動に不安を抱えたまま退任につながるケースも少なくありません。

こうした課題に対し、「認知度の低さ」については、ターゲットを意識した周知が重要です。定年退職者や地域ボランティア、資格保有者、自治会役員経験者などに向けて、民生委員活動のやりがいや魅力を発信していく必要があります。

また、「推薦母体」については、自治会だけでなく、企業や福祉関係機関などへもアプローチを広げる視点



川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科
准教授 中尾 竜二氏

が求められます。行政や社協から推薦者を擁立してもらうことや、場合によっては自薦を受け付けるなど、推薦の仕組みを柔軟に考えていくことも必要です。「1期目の壁」への対応としては、チームで支える体制づくりが重要です。困難事例に対して複数の委員が連携して対応する「チーム対応」は、経験の浅い委員にとって大きな安心につながります。また、専門機関へ早めにつなぐことも継続のポイントです。さらに、つないだ後に専門機関から民生委員へフィードバックを行うことで、委員自身の学びや安心感にもつながります。

加えて、「若手・現役世代が参加しやすい環境づくり」も欠かせません。マニュアル整備や土日開催の検討、企業へのボランティア休暇制度の働きかけなど、行政から社会全体へのアプローチも重要です。

担い手問題は、一つの方法だけで解決できるものではありません。地域の特性や時代の変化に応じながら、民生委員・行政・社協が協働し、社会全体でこの仕組みを支えていく視点が求められています。



〈大阪府地域福祉課からの報告〉 令和7年12月の一斉改選の状況について

全国の一斉改選結果

(令和8年1月16日厚労省プレスリリース)

	定数	委嘱数	充足数
令和7年度	240,971人	220,880人	91.7%
令和4年度	240,547人	225,356人	93.7%

−2.0
ポイント

大阪府の一斉改選結果

(一般市町村+中核市)

	定数	委嘱数	充足数
令和7年度	8,421人	7,437人	88.3%
令和4年度	8,423人	7,567人	89.8%

−1.5
ポイント

年齢分布の変化(一般市町村)

令和元年度と比較して、令和7年度は75歳以上の占める割合が3.7ポイント増。

▶令和7年度一斉改選時において、年齢要件例外適用(75歳以上の再任)は7.7%(310人)

職業別人員の推移(一般市町村)

▶就労率は、令和4年12月(42.48%)から令和7年12月(49.43%)で6.95%増加している。

▶職業別内訳「その他(パート・アルバイト等)19.44%、社会福祉事業3.93%、自営業10.92%、会社員8.7%、宗教家又は宗教教師1.51%、その他医療保健業1.49%、教育者1.44%、農林水産従事者1.21%、公務員0.66%、医師又は歯科医師0.15%」

グループワーク

研修会には、大阪府内の市町村より112名が参加しました。民生委員・児童委員、民児協事務局、行政担当者が23グループに分かれ、各地区の情報交換会を実施。令和7年度一斉改選の振り返りや、次期改選に向けた課題・取組みについて活発な意見交換が行われ、その後、各グループによる発表が行われました。



●意見の抜粋

前半

令和7年度 一斉改選の振り返り

施設連絡会の協力により、福祉専門職の委員就任につながった。

推薦準備会を設置したことで、人材確保につながった。

PTA、子ども会、青年団など各種団体や、そのつながりを通じて人材を発掘した。

後半

令和10年度に向けて取り組むべきこと

マンション管理組合への協力依頼。

行政退職者へのアプローチ。

行政から自治会等の推薦団体へ依頼文やパンフレットを配布。

自治会以外の推薦母体の開拓(子ども会、保護者会など)。

推薦準備会の制度化。

年齢要件の緩和。

チーム対応の構築。

施設連絡会や福祉施設長への働きかけ。

行政広報紙やSNSでやりがいや魅力をPR。

委員同士の横のつながりづくり。



講師の中尾先生より

「今日は、民生委員・児童委員、民児協事務局、行政のみなさんに集まっていただきました。各市町村でも、この3者が協力できる機会をつくり、次の改選に向けて、先を見越した取組みを進めていってください!」

民生委員・児童委員の日 活動強化週間／孤独・孤立対策強化月間

● 5月12日からの1週間は「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」です ●

● 5月は「孤独・孤立対策強化月間」です ●

大阪府では、毎年5月に、「地域における困りごとのつなぎ役」や「身近な相談相手」である民生委員・児童委員（以下、民生委員）の活動周知に取組むとともに、孤独・孤立についての理解・意識や機運を社会全体で高めていくための啓発活動を行っています。

令和8年度は、大阪市此花区、東住吉区、高槻市、摂津市、八尾市、箕面市、東大阪市、泉南市、交野市、阪南市、島本町にご協力いただき、実施しました。

このうち、大阪府職員が参加させていただいた4つの市のイベントについて紹介します。

高槻市「こども映画会」

【と き】令和8年5月5日(火) 9:30～15:30

【ところ】高槻城公園芸術文化劇場北館中ホール

高槻市の民生委員の皆さんが開催するこども映画会に参画させていただきました。大阪府は「ミンジー×もずやん 缶バッチづくりコーナー」を設置し、映画上映後に子どもたちに缶バッチづくりをしてもらいました。イベントには約800人の来場があり、約450人の子どもたちが缶バッチづくりに挑戦しました。

映画を観終えた子どもたちの笑顔と、地域のためにいきいきと活動される民生委員の皆さんの様子が印象的な、心温まるイベントとなりました。

缶バッチづくりを通して、たくさんの方々に民生委員・児童委員について知っていただきました

子どもたちは好きなデザインを選んで名前やメッセージ入りのオリジナル缶バッチづくり



民生委員「あなたのまちの民生委員・児童委員」と孤独・孤立対策「5月は「孤独・孤立」対策強化月間です」ののぼりを掲げてPR



多くの民生委員の方がいきいきと活動されていました



八尾市「民生委員・児童委員活動強化週間周知啓発活動」

【と き】令和8年5月13日(水) 10:00～10:30

【ところ】アリオ八尾 1階

八尾市の民生委員の皆さんが実施する民生委員のPR活動が、アリオ八尾で開催されました。大阪府も参画させていただき、「ミンジー×もずやん 缶バッチセット」の配布を行いました。お子さんを連れた保護者の方や高齢者の方など、幅広い世代の方々に対し、民生委員の活動について周知することができました。



民生委員のマスコットキャラクターであるミンジーもPR♪



～「あなた」から「あなた」に缶バッチを届けませんか～ミンジーともずやんの缶バッチをセットで配布。家族や近所の方と分け合うことで「つながる」きっかけに。



交野市「ファミリーフェスタ2026」

【と き】 令和8年5月16日(土) 13:00~16:00

【ところ】 ゆうゆうセンター 1階

交野市の民生委員の皆さんが開催する、親子で楽しめるイベントに参画させていただきました。輪投げやコイン落とし、プラバンづくりなど、子どもたちが楽しめるゲームの中に、大阪府も「ミンジー×もずやん 缶バッジづくりコーナー」として参加しました。

民生委員による相談コーナーも設置され、楽しみながら民生委員について知っていただける、充実した催しとなりました。

景品は全て手作り!子どもたちの笑顔がたくさん見られた1日でした



民生委員・児童委員のウェットティッシュやリーフレットの配布等を通してPR



箕面市「民生委員・児童委員活動強化週間周知啓発活動」

【と き】 令和8年5月17日(日) 11:00~12:00

【ところ】 みのおキューズモール

箕面市の民生委員の皆さんと一緒に、民生委員及び孤独・孤立対策の啓発として、みのおキューズモールで配布活動を実施しました。こちらでも大阪府は「ミンジー×もずやん 缶バッジセット」の配布を行いました。

お買い物中のたくさんの方々に配布を行うことに加えて、地域の方のお悩みについて民生委員さんが相談を受けられる場面も見られ、いきいきと活動される民生委員さんたちの姿が印象的な活動でした。

民生委員「あなたのまわりの民生委員・児童委員」と孤独・孤立対策「5月には「孤独・孤立」対策強化月間です」ののぼりを掲げてPR



当日は缶バッジセットのほか、ウェットティッシュやチラシも併せて配布



孤独・孤立対策と民生委員について

5月12日からの1週間は「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」で、民生委員・児童委員活動周知のための取組みを強化する期間です。

また、5月は「孤独・孤立対策強化月間」でもあります。孤独・孤立の問題が深刻化するなか、人生のあらゆる場面で誰にでも起こり得る孤独・孤立の問題について、社会全体で対応することが重要です。

このため、大阪府では、民生委員の「地域における困りごとのつなぎ役」や「身近な相談相手」としての役割の周知と孤独・孤立対策の柱の一つである「孤独・孤立に至っても、支援を求める声を上げやすい・声を受け止める・声をかけやすい社会」を目指す取組みとして、5月に行われる「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」のイベントを通じて、啓発活動を行っています。



民生委員・児童委員さん

●熊取町民生委員児童委員協議会●

登下校時の見守り活動とあいさつ運動で
子どもたちが安心・安全に暮らせる町づくりを

熊取町は子どもの見守り活動が盛んな地域。町内には多くのボランティア登録者があり、民生委員・児童委員（以下、民生委員）も積極的に参加し、子どもたちの安心・安全のために活動しています。また、大学施設も多く、大学と連携してイベントを開催するなど、学生と高齢者の交流の場も設けています。

登下校時のあいさつ運動で 子どもたちと顔の見える関係に

子どもたちの安全対策に熱心に取り組む熊取町には、子どもの安全・安心を守る活動として、PTAや地域の方々からなる「子ども見まもり隊」があります。児童生徒の登下校時に自宅前や交差点などに立って見守るもので、現在、200名を超える市民がボランティアとして熊取町に登録しており、民生委員もこの活動に参加。毎月8日を「子ども安全デー」と定め、通学路での見守りパトロールに多くのボランティアと民生委員が参加しています。

基本的に登校時の見守り活動は毎日行っていますが、特に長期休暇明けとなる各学期のはじめの1週間は、より多くの見まもり隊や民生委員が町中に立ち、「あいさつ運動」を実施。子どもたちが安心して通学できるように、互いに顔見知りになり見守っていくことが、町の安全確保につながっています。

保育園行事をサポートしながら 園児や保護者と交流

熊取町には5つの小学校区と3つの中学校区があります。その中のひとつ、西小学校区では、主任児童委員を中心に校区内にある「すみれ保育園」の行事に参加。「夕涼み会」「昔あそび」「もちつき大会」の3つの行事を手伝っています。



夕涼み会では、ヨーヨーすくい、綿菓子、ポップコーンなどの縁日をお手伝い。昔あそびでは、輪投げやコマ回し、あやとりなどを園児たちと一緒に楽しみます。もちつき大会では、臼や杵を使った、昔ながらの餅つき経験のない保護者が多いので、まずは民生委員がお手本を披露。若いお父さん、お母さんと交代し、やがて子どもも加わって、賑やかに行われます。どの行事も6〜7名の民生委員が参加し、保育園や保護者、園児たちと交流を深めています。



保育園の夕涼み会で、縁日コーナーをお手伝い



民児協だより

【北摂ブロック】

池田市



長島愛生園・歴史館見学



長島愛生園・体験談



なんでも相談窓口



健診後のPR活動

大阪府北部にある小さなまちの池田市。「『だったらいいな』を叶えるいけだ」をキャッチフレーズに、子ども・子育て支援や高齢者・障がい者福祉の充実に力を入れています。池田市民児協も、我がまち全体が「地域共生社会になったらいいな」との思いを忘れずに活動を進めています。

特に力を入れている活動の一つに研修会があります。年2回の全体研修会、3年に一度の管外研修のほか、各部会や地区委員会が実施する施設見学や講演会などを通

して委員個々の資質の向上を図っています。

令和7年度の7月全体研修では「ハンセン病・差別の歴史」をテーマに講演会を実施。3ヶ月後の管外研修で岡山県にあるハンセン病の国立療養所「長島愛生園」を訪問し、歴史館を見学した後長年差別を受け続けてきた方（語りべ）の体験談を拝聴しました。

また、今年2月の全体研修では、児童虐待防止協会から、「児童虐待」についてのお話を伺いました。

他にもPR活動を活発に進めています。毎年5月の民生委員・児童委員活動強化週間では一週間、市役所のロビーの一角に「何でも相談窓口」を設けて市民からの相談に乗る一方、その近辺でPRグッズ（リーフレット・ウェットティッシュ）を配布してPR活動を展開しています。

さらに池田市が実施している乳幼児や就学前の子どもたち対象の健康診査時にも、検診にいられた親子にPRグッズを配布しています。

池田市民児協



【河北ブロック】

枚 方 市



ベテラン委員と経験の浅い委員が同じテーブルに付くことが特徴

不安解消！ 民生委員座談会

枚方市民児協では、民生委員活動をしていく中で感じている不安や悩み・課題についてグループで意見交換を行う「民生委員座談会」を開催しています。座談会は参加者が6人〜7人の小グループに分かれて話し合うので、自由な雰囲気の中意見交換を行っています。



和やかな雰囲気の中ざっくばらんに意見交換

民生委員経験の浅い方と長く活動しているベテランの方が同じグループにいるので、参加者からは「日頃どうしようか考えていることを聴けてよかった」「他の校区の民生委員の方々も同じような悩みがあることがわかってよかった」「長年民生委員をされている方々に経験も踏まえて疑問に答えていただきた大変勉強になった」と様々な感想がありました。



啓発事業チラシ

枚方市民児協

民生委員活動啓発講演会 開催！

また、広く市民に民生委員活動を知ってもらうため、啓発講演会「民生委員の活動ってご存知ですか？」を令和8年5月に開催しました。講演会では「民生委員の実際の活動」、「民生委員のやりがいや魅力について」、市民の方に伝える機会となりました。

枚方市民児協では、現在活動されている民生委員が長く活動が続けていくよう「民生委員座談会」を続けるとともに、広く市民に対して活動内容を知ってもらう取り組みを行っています。

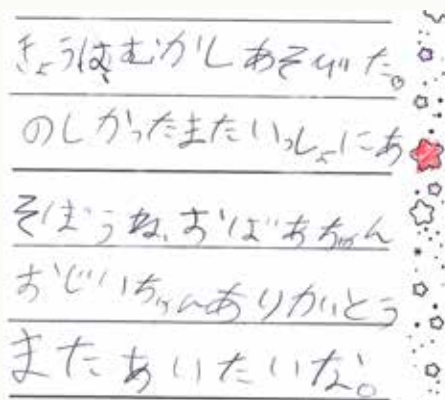
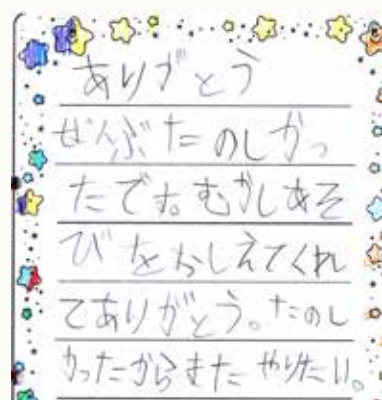


子どもからのイラスト

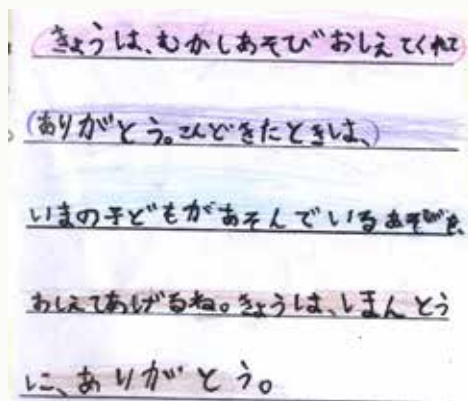
【民児協だより】

【河南ブロック】

太子町



令和7年度から、町内2つの小学校1年生に昔あそびを伝える取り組みが始まりました。民生委員児童委員も延べ22名が参加しました。



子どもからの感想文

太子町民児協

子どもたちの瞳はキラキラ輝いていました。私たちは子どもたちからたくさん元気もらいました。磯長小学校では「きょうはきてくれて、ありがとうございます。またきてくださいね。これからがんばってくださいね」のお礼の言葉を、山田小学校では「はじめてのメンコたのしかった」など、ひとり一人の感想とハイタッチをいただきました。



大盛況でした!



昔遊びを教える様子



ほしぞらみんな食堂



【泉州ブロック】

泉 南 市

子ども食堂

泉南市には「泉南子ども食堂ネットワーク」に登録している子ども食堂が10か所あります。鳴滝地区「NPOほしぞら&ふれあいハウス鳴滝」が運営している「ほしぞらみんな食堂」と最近始めた樽井地区の「やまのい食堂」を紹介します。

「ほしぞらみんな食堂」は「支え合いのまちづくり」を目標として地域の方々と設立しました。高齢者を対象に配食が中心でしたが、学校との交流から学習支援を行うことになり、大学生を中心とするボランティアが指導しています。

高齢者・外国の子どもとその家族へと輪が広がり地域の居場所となりつつあります。

「やまのい食堂」は（福）恩賜財団済生会が主催で立ち上げました。名前の由来は山之井遺跡からとっているそうです。

元幼稚園の建物を借りているので、大小の部屋が複数あることから食堂・遊びの部屋・勉強の部屋を別々にしています。小学生以下の親子連れが多く利用しています。食事作りは民生委員を含むボランティアで行っています。

どちらの子ども食堂の運営も食堂事業単独では厳しく、他の事業との総合的な運営で何とか運営できているのが実情です。また対象者の範囲を広げていきたいという思いも共通しています。

今後、民生委員として他の子ども食堂とも関りをもっていきたいと思っています。

泉南市民児協



やまのい食堂



今回は、枚方市民児協の主任児童委員活動についてご紹介します。

①枚方市民児協は、1民児協・4ブロック・15地区44小学校区で組織され、主任児童委員は各校区から1名ずつ選出されています。委員数が多い分、活動経験により温度差が出てしまいます。少しでもスムーズに活動をしていくために、連絡会では主任児童委員として大事な、各関係機関と顔の見える関係作りに力を入れると共に、子ども・子育て支援の現状を把握することを大切にしています。

令和8年度はまず教育委員会から小中学校の現状、いじめの定義、不登校の支援活動や子どもの成長を支える関わりである「発達支持的生徒指導」などについて具体的な情報共有ができました。

特に枚方市は市を挙げていじめ対策に力を入れています。また枚方市まるっとこどもセンター（こども家庭センター）との研修を行い、

児童福祉の法律、虐待を見分けるサインや通告の流れ等、不安なく活動できるためのスキルを再確認することができました。

今後は約15名の保健師と4グループに分かれて、地域別に情報交換を予定しています。主任児童委員としての相談援助のツールとしてジェノグラムの研修、発達障害・虐待だけでなく、マルトリートメント（大人から子どもに対する避けたいかわりなど、子どもに関わる様々な課題に向き合い委員としての見識を深め、日々の活動に活かせるように研鑽を重ねていきます。また一人で課題を抱え込まないよう委員同士、毎回ブロックに別れて情報交換を行っていきます。



地域子育て支援拠点会議の様子

②地域子育て支援拠点は公立私立の保育所や広場など15ヶ所あり、主任児童委員が各拠点に2〜3名ずつ配置されています。就学前の親子を対象に、地域に根ざした直接的支援のため、担当の保健師、保育園・幼稚園などの保育士、各関係機関と主任児童委員がそれぞれの立場で情報交換をし、具体的な支援を可能にしています。



主任児童委員連絡会 関係機関からの情報提供の様子

。主任児童委員の本来の責務である個別支援と関係機関をつなぐ役割がスムーズに出来る大切な場となっています。

③枚方市では校区福祉委員会、福祉委員と児童委員が協力して子育てサロンを開催しています。そこでは主任児童委員が校区福祉

委員と連携しながら運営し、季節に合わせ、ひな祭りや、七夕祭り、クリスマスなどイベントを開催しています。また、保護者同士で話せる母子分離などを取り入れ、それぞれの地域の特性に合わせたサロンを開催しています。日中、子どもと二人きりで少し疲れてしまっているお母さんたちが、何度か参加するうちに明るくなり元気になっていくのを見ると少しの時間でも、このサロンの大切さを感じます。



子育てサロンの様子

たくさんの
ご応募お待ちしております！

利用者さんの思いが込められた「さをり織りセット」です。色鮮やかで、見ただけで明るい気持ちにしてくれる品々です。ワークセンターささゆり1階ロビーでも販売をしていますので、興味のある方はぜひ一度訪ねてください。



さをり織りセット 4名様

応募方法

必要事項をもれなくご記載いただき、締切日までにFAX
または本会ホームページの応募フォームからご応募ください。

応募締切 令和8年8月14日(金)午後5時必着

必要事項

- ①氏名(ふりがな)②住所③電話番号
 - ④所属(民生委員・児童委員、関係機関職員、その他)
 - ⑤一言コメント・感想
- (本誌へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せください)

宛先

大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX] 06-6762-9487

[H P] <https://www.osakafusyakyoo.or.jp/minkyo/>



〈Wellおおさか54号の当選者〉

おめでとうございます！

皆さんご応募ありがとうございました！

箕面市Y.T様、東大阪市O.Y様、泉大津市F.S様、和泉市M.Y様

事務局だより



大阪府版 ミンジーの着ぐるみが完成しました!!

ミンジーは、協力して子育てをするペンギンの姿を通して、「地域における支え合い」や「社会全体で子育てを応援すること」の大切さを表現しています。

名前は、「民生委員」の“ミン”と、「児童委員」の“ジー”を組み合わせ、「ミンジー」といい、ペンギンの姿をしています。すでにたくさんの市町村に出没しています！

イベントでの活用をお考えの際は、各市町村民児協の事務局へお問い合わせください。

赤い羽根共同募金の愛ちゃんと希望くんも駆けつけてくれました！



ミンジーお披露目会の様子

民生委員・児童委員が
応援団!!
わがまち
★逸品★
箕面市民児協
Vol.20

プレゼントの商品の紹介

社会福祉法人 あかつき福祉会
箕面市立あかつき園・
ワークセンターささゆり
のみなさん



指編みの鏡餅



昭和53年設立のあかつき福祉会では、どんなに重い障がいのある人も「このまちで自分らしく暮らしたい」という思いを叶え、自立生活につながるよう、幅広い障がい福祉サービスを提供。「箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり」では、就労継続支援B型事業6名、生活介護事業59名の利用者さんが日々活動しています。

ワークセンターささゆりの主な作業は、箕面市から委託を受けた、箕面市指定ゴミ袋の製造で、箕面市全世帯分の20L、30Lサイズのゴミ袋を扱っています。利用者さんの仕事は、ゴミ袋を1枚ずつ丁寧に折りたたみ、10枚重ねて袋に入れ、圧着していく作業です。折る作業が難しい利用者さんには、配送で運ぶ作業をしてもらうなど、個々の能力にあわせて分担しています。袋詰め作業は市内の就労継続支援B型事業所6か所と協力して行っており、箕面市内に約100店舗ある取り扱い店から注文を受け、配送まで行います。



授産品としては、さをり織りや指編みを行っており、施設やバザーで販売しています。指編みは靴下の製造工程で出る端切れを使用したもので、利用者さんも楽しみながら作品を製作。「Daigasグループ」小さな灯”運動”主催のふれあいバザーに出店したり、近隣の地区福祉会が主催するいきいきふれあい広場に参加し、さをり織り体験や指編み体験ワークショップ



さをり織りや指編みの作品を制作・販売しています



を開いたりしています。作品が売れることで、利用者さんのモチベーションアップにもつながっています。

毎年秋には、「あかつきまつり」を開催。ゲームコーナー、各種販売会、車いす体験コーナー、景品抽選会など、利用者さんと家族、近隣の小学生や地域の方々も含め500名ほどが来場する人気イベントになっています。

また、農作業も行っており、採れたての野菜は近隣の方にも大人気。地域の幼稚園児とさつまいもの苗植えをし、秋になったら園児と一緒に芋ほりも楽しんでいます。

現在、当施設は建替工事を行っており、新棟完成後には定員が40名増になる予定です。所長の東さんは「人数が増えても、今まで通り、皆さんの日中活動を充実させたい。色々な楽しみを見つけ、一人ひとりが笑顔で過ごせる場所にしていきたいです」とお話されていました。



岩崎 昭司 さん
(箕面市民生委員児童委員協議会 会長)

明るく、楽しく、朗らかに、誰もが自分らしく暮らせる笑顔あふれる地域づくりに力を合わせてまいります。

★お問い合わせ先★

〒562-0045 大阪府箕面市瀬川3丁目3-21
TEL. 072-722-3318

編集後記

連日、厳しい暑さが続いているようですが、いかにお過ごしでしょうか。今号では、新任民生委員の定着支援に取り組む民児協の活動紹介として、島本町・豊能町へ取材に行きました。どちらの町も縁にあふれた自然豊かな地域で、取材を通して心身ともにリフレッシュすることができました。また、協力員制度や地区会の取り組みを進める中で感じておられる良さや工夫についても、たくさんお話を聞くことができました。皆さまの活動の参考として、ぜひご覧ください。(I・K)

Well

おおさか

vol.55
(通巻87号)



発行日:令和8年7月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <https://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



QRコードから
簡単アクセス